

奄美植物研究への誘い

奄美野生生物保護センターでは、毎年、奄美地域の自然環境について調査研究を行っている研究者等に講師となってもらい、研究成果の地域への還元と地域住民への普及啓発を図るため、あまみワイルドライフセミナーを開催しています。今年は、奄美地域で植物研究を行っているお二人をお招きし、最新の研究成果をお話していただきます。

日時：2月20日（土） 19:00～20:30

場所：オンライン配信（YouTube Live 配信）のみ

以下の URL または右に記載されている QR コードからアクセスして視聴してください

URL：https://youtu.be/Dxhwg1tKDBY

事前申込み不要 / 参加費無料



【講演1】鵜川信（うがわしん）

鹿児島大学農学部農林環境科学科 准教授

「徳之島における天然林の維持機構 （オキナワウラジロガシと スダジイの戦略の違い）」

徳之島三京の森林についてお話していただきます。徳之島の森林は、スダジイとオキナワウラジロガシが優占種とする亜熱帯常緑広葉樹が広がっていますが、この2種は生き残るために棲み分けを行っているそうです。なぜこれらの棲み分けが起こっているのでしょうか。



【講演2】川西基博（かわにしもとひろ）

鹿児島大学法文教育学域教育学系教育学部 准教授

「奄美大島の河川沿いにおける 森林の伐採履歴と種多様性」

奄美大島の河川沿いに生育する植物についてお話していただきます。河川でも上流・中流・下流、また河川によってそれぞれ生育する植物は違うそうです。どんな種類が生育しているのか、また、奄美大島の河川は伐採など、どんな歴史を歩んできたのでしょうか。

